

## 三菱化工機ニュース（プレスリリース情報）

No.444 平成30年1月31日  
企画部 経営企画グループ

### 三菱ダイナフィルター（最小機種 D y F 152/S 型）に関する 日立工機株式会社との国内総販売店契約のお知らせ

三菱化工機株式会社（本社：神奈川県川崎市 取締役社長：高木紀一）は、日立工機株式会社（本社：東京都港区、社長執行役員：前原修身）との間で、回転式セラミック膜フィルターろ過機（商品名：「三菱ダイナフィルター」略称「D y F」）の小型機種 D y F 152/S 型に関する国内総販売店契約を締結しました。

当社機械事業本部では、遠心分離機やろ過機など固液分離機全般を取り揃え、顧客要求に合致した機種を選定し提供しています。近年、有機無機を問わず高付加価値製品である機能性化学品や金属・磁性材料など、ナノ粒子スラリーの固液分離に対する顧客要望が高まっており、2012年から製造販売を開始したダイナフィルターの適用事例が増加傾向にあります。

ダイナフィルターのろ過メディアはナノサイズの細孔径を有するセラミック膜ディスクで、ディスクを回転させることにより高いろ過速度を維持できるため、従来の固液分離機において達成できなかったナノ粒子スラリーの精密ろ過・回収を高効率に行うことができます。また密閉・防爆仕様にも対応でき、高濃度スラリーの洗浄・溶媒置換工程においても高い能力を発揮します。

当社は既に三菱ダイナフィルターの30台以上の納入実績を重ねてきました。今後は顧客の研究開発部門における多くの潜在的需要に応えるため、研究室で使用される実験用遠心分離機の製造販売を得意とする日立工機に、内容量240ccのダイナフィルター小型機種（D y F 152/S 型）の国内における販売を独占的に委託し、商談機会を一気に拡大することを目指します。日立工機は、分離精度や粒子同士の固着、有機溶媒対応などの課題を解決できるダイナフィルターを商材に加えることにより、成長分野である材料系顧客へのソリューションを提供することができ、自社が持つ全国の理化学販売店網を活用し販売拡大することを目指しています。

両社が培った分離ノウハウを持ち寄り、ダイナフィルターの最適な運用方法を顧客に提案することにより、用途開拓、販売拡大に努めて参ります。

尚、2月14日（水）より東京ビッグサイトにて開催されます、n a n o t e c h 2018展に当社および日立工機の出展ブースにおいて小型ダイナフィルター（D y F 152/S）のデモ及び展示を行います。是非、会場にてお近くで実機をご覧ください。

三菱化工機ブース 東5ホール ブースNo.5C-11  
日立工機ブース 東4ホール ブースNo.4G-15

#### □ D y F 152/S 型販売についてのお問い合わせ

日立工機株式会社 ライフサイエンス機器事業部 須川、梯（かけはし）  
東京都港区港南2-15-1品川インターシティA棟 〒108-6020  
Tel. 03-5783-0601(代表)

以上

お問い合わせ先

三菱ダイナフィルター（最小機種D y F 152/S型）に関する  
日立工機株式会社との国内総販売店契約のお知らせ



回転式セラミック膜ろ過機 三菱ダイナフィルター 152/S

お問い合わせ先

**三菱化工機株式会社**

川崎市川崎区大川町2番1号

企画部 経営企画グループ

電話 044-333-5377 Fax 044-333-5276